

小倉薬剤師会 12月学術研修会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう
お願い申し上げます。

謹白

- 事前申し込みの方のみご参加可能ですので、参加ご希望の際は、以下URLより **12月10日(水)** 厳守にてお申込みください。(お申込みは会員に限ります)
- 視聴用URLの発行について
開催日前に、以下申込みURLよりご登録いただいたメールアドレスへ、視聴用URLをお知らせします。

※お申込みされた方で開催日前に視聴用URLが届かない場合は事務局まで(093-941-3518)ご連絡ください。

■単位申請について(PECSに変更)

- ①ご参加いただいた会員様の単位取得は、以下の申込みURLよりご入力いただいた「薬剤師番号」にて申請いたしますのでご入力の際は誤りのないようにご注意ください。※申請後の修正はできかねますのでご了承ください。
- ②単位取得については入退室が記録されたZoomからの「受講ログ」を研修センターに提出となっております。講演開始時19時前にご入室されたログ記録、および20:30までご聴講いただいたログ記録にて認められます。※ログ記録が1.5時間に満たない場合は単位取得の対象となりません。

記

【日時】 2025年 12月 18日(木) 18:45~20:30
【開催方法】 WEB配信(WEB会議ツールを用いたオンライン研修) 研修会
【情報提供】 18:45~19:00
『クービビック錠』 塩野義製薬株式会社

【PS】 1. ヒューマニズム(倫理): ①-1~3、
2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性) ②-51~53、133、135、159、③-1~3、7、23

座長 学術委員 浅田 律子 先生

【特別講演】 19:00 ~ 20:30

『睡眠専門医の診療アプローチ~新たな治療選択肢を踏まえて~』

演者 有吉祐睡眠クリニック 院長 有吉 祐 先生

<講演要旨>

我々はこの冬から4種類のオレキシン受容体拮抗薬(ORA)を使い分けることができるようになった。これからの不眠症治療戦略とは、多剤併用や過量処方避け、GABA受容体作動薬(ベンゾジアゼピン系+非ベンゾジアゼピン系睡眠薬)に依存せず、ORAやメラトニン系睡眠薬、漢方薬などを適切に使い分けることにある。

さらにORAを使いこなすには、内因性オレキシンの日内変動やGABA受容体作動薬との受容体占有率の違い、血中半減期や最高血中濃度到達時間などの薬物動態だけでなく、受容体への結合親和性、結合/解離の速度などが臨床効果を左右することなどへの理解が必要である。

講演当日は、ORAに関する様々な知見を紹介するとともに、実際にボルノレキサントを服用してみた実感やレノボレキサントの多施設共同臨床研究で得たデータなども交えてお話する予定である。

共催: 小倉薬剤師会
塩野義製薬株式会社

12月18日（木）学術研修会申込書

↓以下の研修会申込みURLよりお申込みください↓

申込み締切：12月10日（水）迄

<https://forms.gle/X1kP8mpmfBFp4yKs9>



■PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録はお済みですか？■

PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録が必須となりますので、単位付与を希望される場合は、必ずPECSへの登録完了後に、参加申し込みしてください。

日本薬剤師研修センターHP <https://bitly/3Vb8RU9>（薬剤師用入口より）

登録完了していない場合や登録内容に誤りがあった場合は、単位が正しく発行されません。免許番号に「中」や「外」が含まれている場合は、その文字も含めてご入力ください。登録内容に誤りがあった場合の単位付与に関して、本会は責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・当講演会で取得したご施設名・ご芳名は、共催製薬会社による医薬品および医学・薬学に関する情報提供、ならびに参加者に関するご確認のために利用させていただくことがございます。また、当該情報は、共催製薬会社から小倉薬剤師会に開示させていただきます。
- ・医薬関係者[※]以外の参加はご遠慮いただいております。
※主として医師、歯科医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床心理士等の医療専門家（医学部・薬学部等の学生を含む）及び医療施設において医療に従事する職員
- ・適切な講演会運用を行うため、講演内容を録画または録音させていただきます。